

## 日田商工会議所 サマータイム委員会 議事録

1. 日 時 令和8年1月22日（木） 10:00～10:40

2. 場 所 日田商工会館 4階 議員サロン

### 3. 出席者

（担当副会頭） 園田 匠

（委員長） 高橋 進太郎

（副委員長） 浦中 直也

（委員） 白石 章二、岡見 要一郎、梶原 康輝、宮崎 信二

（専務理事） 樋口 恒成

（事務局） 大石 昭典、伊藤 宏

### 4. 議事経過

#### 1) 委員長挨拶

・高橋委員長より挨拶があり、委員への協力依頼がなされた。

#### 2) 議題

##### (1) 副委員長選任について

・高橋委員長より浦中直也氏が推薦され、満場一致で副委員長に選任された。

##### (2) 意見交換

・高橋委員長より、サマータイムの2つの定義やこれまでの国内事例などについて、資料に基づき説明がある。

・園田副会頭より、働き方改革の一環として、若い人々などを中心に働きやすくなるよう、1年目は調査、2年目は定義、3年目は提言を目標に進めていただきたい、との話がある。

・浦中副委員長より、自社でも過去に取り組んだ時期があるが、物流と営業には向かないことが確認され、中止した経緯がある。夏に働きやすい仕組み作りについて検討したい。まず、現状把握として、議員アンケートを実施してはどうか、との話がある。

・白石委員より、①行政への働きかけ方を考えたい、②農家（梨など）の事例を調べたいとの話がある。

・岡見委員より、現場仕事が多く、夏場の現場仕事は厳しい状況にあり、喫緊の課題となっている旨、話がある。

・梶原委員より、過去に取り組んだことがあり、昼休みを2時間にしたが、夕方が遅くなり、若い人達に抵抗があり、なじまなかった。また、設計事務にフレックスを導入しようとしたこともあるが、現場従業員との間で勤務時間の不公平感が生まれ、なじまなかった。従業員の健康と生産性の両立を目指しているが、職人のサラリーマン化で工事期間が2～3倍に延びており、従業員の還元する利益を確保できず、難しい。引き続き検討したいと考えている。

#### 3) 閉会

・今後は月1回程度の定期開催とすることとした。